

# 信濃デッサン館 コレクション

NAMコレクション展特集展示

2023年  
1月19日(木) - 3月14日(火)

- 会場 長野県立美術館 コレクション展示室
- 開館時間 9時〜17時(入場は16時30分まで)
- 休館日 毎週水曜日
- 観覧料(本館・東山魁夷館共通)  
一般700(600)円  
大学生及び75歳以上500(400)円  
高校生以下 無料

※( )内は20名以上の団体料金  
※身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳  
をお持ちの方と、付き添いの方1名は無料

NAM

長野県立美術館  
Nagano Prefectural Art Museum



村山槐多《尿する裸僧》1915年

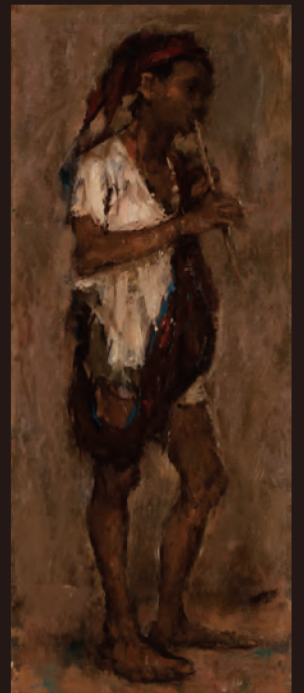


関根正二《自画像》1916年

NAMコレクション展特集展示

# 信濃デッサン館 コレクション

長野県立美術館は2018年から翌年にかけて、上田市の信濃デッサン館（現 KAITA EPITAPH 残照館）より、村山槐多、関根正二、野田英夫ら夭折画家の作品を中心とした、絵画、素描、彫刻390点を「信濃デッサン館コレクション」として新たに収蔵しました。信濃デッサン館は、館主の窪島誠一郎氏によって収集された、日本近現代の素描を主軸とする質の高いコレクションを展示し、また村山槐多の命日を偲ぶ「槐多忌」を毎年開催するなど、人々が集う交流の場でもありました。本特集では信濃デッサン館の活動に関するアーカイブ資料とともに、コレクションから選りすぐりの約110点を紹介します。信州の地に集った若き画家たちの結晶と、約40年に亘る館の歩みをご覧ください。



左上：村山槐多《猫を抱ける裸婦》1916年  
左下：野田英夫《野尻の花》1938年  
右上：吉岡憲《笛吹き》1943年  
右下：松本竣介《ニコライ堂》1941年頃



### ● 信濃デッサン館について

1979年、上田市にある独鈷山麓の前山寺参道脇に開館。夭折画家の作品77点の展示を起点として、その後も村山槐多《尿する裸僧》を筆頭に日本近現代美術のコレクションを拡充。1986年に分館「槐多庵」、翌年には姉妹館「野田英夫記念美術館」(ウッドストック、閉館)が、そして1997年に

は戦没画学生慰霊美術館「無言館」が開館する。2018年無期限休館となり、コレクションの一部が長野県立美術館へと寄贈、売却された。2020年、「KAITA EPITAPH 残照館」と改称して再開、現在に至る。  
公式ホームページ：<https://mugonkan.jp/>

### 主な同時開催展

● NAMアーカイブ&リサーチ 2022  
信州の生活と版画 ―上野誠が見つめた戦後  
開催中～2023年2/14(火) 会場：オープンギャラリー

● 発見された日本の風景展  
2023年2/11(土・祝)～4/9(日)  
会場：展示室1・2・3



会期中の関連イベントについては、詳細が決まり次第、美術館ホームページやSNSでお知らせします。  
〒380-0801 長野市箱清水 1-4-4 (善光寺東隣 城山公園内) Tel: 050-5542-8600 (ハローダイヤル)  
<https://nagano.art.museum/>

新型コロナウイルス感染症等、諸般の事情により、会期等に変更が生じる場合があります。最新情報は美術館ホームページをご覧ください。

### ● 交通アクセス

長野県立美術館には一般来館者の駐車場はございません。公共交通機関のご利用を推奨いたします。(併設の東山魁夷館北側に隣接する駐車場は、大型バスや障がいのある方など「信州パーキング・パーミット制度」にて指定された方の専用駐車場です。)

### ● 公共交通機関でお越しの場合

- ① JR長野善光寺口バス乗り場①から、アルピコ交通バス 11・16・17で「善光寺北」下車(所要時間約15分)。バス進行方向徒歩約3分。
- ② 長野電鉄善光寺下駅より徒歩約15分。

